

津波がおきたらどうする？



津波は地震発生後、あっという間にやってくる場合があります。海岸付近にいるときに強い地震や長い時間の揺れを感じたら、津波警報の有無にかかわらず、一刻も早くその場を離れて、高台などの安全な場所に避難しましょう。

自宅が安全な場所だといってもいつも家にいるとは限りません。仕事や買い物で自宅を離れたり海岸付近へ行くこともあるでしょう。津波から避難するポイント覚えておきましょう。

津波から避難する4つのポイント

1 地震の揺れの程度で自ら判断しない

揺れがそれほどなくても津波がおきるケースは、過去にもしばしばありました。明治三陸地震（明治29年（1896年））では、沿岸で震度3程度だったにもかかわらず、大津波が押し寄せています。津波の危険地域では小さい揺れでも、揺れを感じなくても、まずは避難を最優先にしましょう。

3 津波の“俗説”を信じるな

日本海中部地震（昭和58年（1983年））では、秋田県で浜辺に遠足に来ていた小学生らが津波にさらわれるなどの被害がありました。この地震が発生するまでは「日本海では津波は



ない」という俗説が伝えられており、住民には津波への警戒心が足りなかったと指摘されています。根拠のない俗説に命をゆだねることなく、気象庁の津波情報に耳を傾けましょう。

2 避難の際に車は使わない

原則として、車で避難するのはやめましょう。北海道南西沖地震（平成5年（1993年））の際、奥尻島では車で避難する人が続出、狭い道路が渋滞してしまい、そのために津波にのみ込まれて命を落とした人が多数出ました。



4 “遠く”よりも“高く”に

すでに浸水が始まってしまった場合などは、思うように避難できないことが予想されます。そんな場合は、遠くよりも高い場所、例えば近くの高いビルなどに逃げ込みましょう。ただし、鉄筋コンクリート造りで3階建て以上の建物の3階以上に避難しましょう。津波避難ビルがあれば、そこに避難しましょう。

津波・洪水避難ビル

公共施設

吹田第一小学校	第三中学校
吹田第二小学校	第五中学校
吹田第三小学校	第六中学校
吹田東小学校	豊津中学校
吹田南小学校	豊津西中学校
吹田第六小学校	内本町コミュニティセンター
豊津第一小学校	勤労者会館
豊津第二小学校	文化会館（メイシアター）
江坂大池小学校	

民間施設

ダスキンピア
ダスキン大阪中央工場
ダスキンスクール
NESCO 総合ビル
ビケンテクノ本社ビル
向洋電機（株）
アドリーム江坂
リーサイド豊津
トップ産業ビル
寿町藤原ビル
江坂スクエアビル
シティハウス吹田穂波公園
GLA 近畿会館
GLA 近畿会館別館
明治東洋医学院専門学校

津波・洪水避難ビル

吹田市では、津波・洪水避難対策として「津波・洪水避難ビル」を指定しています。



※公共施設・民間施設の場所については「防災マップ」(P31～)をご覧ください。